

養父市の子どものための 学習・生活像は

「児童・生徒質問紙（77項目）」のうち、3年間の平均回答率が高かった項目は次のとおりです。

- ▽小学6年・中学3年共通生活習慣に関すること
- ▽朝食を毎日食べている
- ▽毎日同じくらいの時刻に起きる
- ▽近所の人に会ったときはあいさつしている
- ▽学習に関すること

- ▽学校で好きな授業がある
- ▽家で学校の宿題をしている
- ▽学校に持って行くものを、前日かその日の朝に確かめている
- ▽国語や算数（数学）の勉強は大切だと思う
- ▽国語や算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う
- ▽価値観等に関すること
- ▽友だちとの約束を守る
- ▽学校のきまりを守っている
- ▽学校で友達に会うのは楽しい
- ▽いじめはいけないうことだと思う
- ▽人の役に立つ人間、人の気持ち

持ちがわかる人間になりたいと思う

▽人が困っているときは、進んで助けている

▽ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある

小学6年のみ

▽今住んでいる地域の行事に参加している

▽将来の夢や目標をもっている

養父市の子どものための「こんなところがすごいこと」

3年間ほぼ同様の傾向にあることから、養父市の子どもの良さは、特に次の4つにあるといえそうです。

①規範意識が高い

友だちとの約束や学校の規則など、「社会のきまり」を守ろうとする規範意識が高く、いじめはどんな理由があってもいけないことだと回答するなど、善悪を正しく判断する心も備えている。

②「思いやり」の心がある

「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」など思いやりの心は十分。ただ、人が

困っているときは、進んで助けている」と回答する割合が他の項目に比べるとやや低い。

今後は思いやりの気持ちを態度で表すことが求められる。

③規則正しい生活習慣が身に付いている

起床時間がほぼ一定で、きちんと朝食をとるなど、養父市の子どもたちは非常によい生活リズムで一日を過ごしている。就寝時刻が一定でない子どもの数も年々減少してきている。

④家庭学習にまじめに取り組んでいる

多くの子どもが、「好きな授業がある」「学校で学んだことは将来役に立つ」と答えている。

そのためか、学校の宿題に取り組む子どもの割合や事前

に学校に持って行く物の確認をする子どもの割合が高くなっている。

気になる家庭での過ごし方

▽小学校生の読書時間が減少傾向に

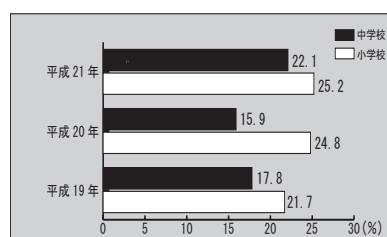
（平成19年＝24.7% ↓平成21年＝15.7%）

※一日の読書時間が30分〜1時間の児童の割合

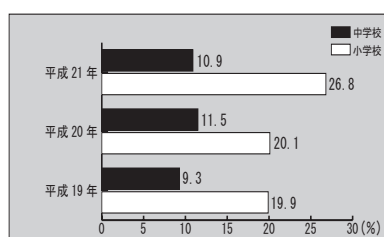
▽読書が好きでないと解答した小学生の割合が増加。

（平成19年＝6.1% ↓平成21年＝13.0%）

▽小学生のテレビやビデオ・DVD等の視聴時間が年々長くなる傾向が（グラフ参照）



テレビなどを3～4時間見る子ども



テレビなどを4時間見る子ども

21年度の問題から・・・②《小学・算数A》

Q.ある会場に小学生が集まりました。

集まった小学生200人のうち80人が女子でした。

女子の人数の割合は、集まった小学生の人数の何%ですか。

下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 0.4% ② 2.5% ③ 40% ④ 80%

※解答は、18ページに掲載しています。

養父市の小中学生にも「活字離れ」「メディア依存」の傾向が見られることが明らかにになりました。テレビやゲーム漬けの生活を改め、本や新聞を読むよう心がけることも大切です。好ましい傾向としては、携帯電話を持っている子どもの割合が、全国平均よりもかなり（20%以上）低いことがあげられます。

3年間の調査結果から

「生活改善」が「学力向上」のカギ！

過去3年間の結果分析から、養父市の子どもたちの生活・学習習慣、学力はほぼ満足できる状況にあることがわかりました。

とくに、漢字の読み書きや数計算といった基礎事項がきちんと定着しており、安定した成績につながっています。

しかし一方で、国や県と同様「活用する力」（思考力や判

断力、表現力など）に課題があることや、「活字離れ」・「メディア依存」の傾向が見られることなど、改善すべき点も浮き彫りになりました。

生活習慣や学習習慣の改善には、学校と家庭との密接な連携が必要です。

「メディア依存」・「活字離れ」の生活を見直そう

※解答は、18ページに掲載しています。

21年度の問題から・・・③《中学・国語A》

Q 次の文で、最も適切な言葉、漢字をそれぞれ（ ）の1から4までの中から一つ選びなさい。

- ア 急いでいるときは、靴をはくのも①おこがましい
②いちじるしい ③もどかしい ④はなはだしい。
- イ 節分のときに、鬼をおいはらう①はからい
②ならわし ③とりなし ④うけあい)は、今でも続いている。
- ウ 調査結果について、報道①機関 ②帰還 ③器官
④期間)に対して説明する。
- エ 入学式のときの、来賓のシュクジ①示 ②事
③字 ④辞)は、特に印象に残っている。

例えば、多くの学校が推奨している「ノーテレビデー」（テレビを見ない日）などのように、週に一度は子どもがテレビを離れ、「活字」に親しめるようにしていただくことなどがあります。

養父市教育委員会では、平成19年度から「養父市の子ども『5つの生活習慣』（下段）」を提唱し、その確立を呼びかけていますが、この内容も参照いただき、生活改善に役立ててください。

「規則正しい生活」が、健やかな心と体、学びへの意欲を育てます

メディアでも報道されているように、規則正しい生活を送っている子は学習習慣も身に付き、意欲的に学習に取り組む、よい成績をおさめています。養父市の子どもの学力が高いのも、落ち着いた生活実態のもと、個に応じたきめ細かな教育が行われているから、だといえます。

今後も教育の課題と成果を検証しながら、養父市の子どもの生活改善・学力向上に努めてまいりますので、家庭・地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

養父市の子ども『5つの生活習慣』の確立を

「しつけとは親と子の真剣勝負のようなもの」

①早寝・早起きの習慣

子どもと寝る時間を約束し、子どもが寝る前に次のことを習慣づける。

- ※決めた時間に、勉強する、入浴する、消灯する。など
- ※幼いうちは、添い寝や絵本の読み聞かせなどをして、子どもが寝る態勢をつくる。
- ※テレビを見る時間をできるだけ減らすなど、大人の夜型の生活に子どもを巻き込まないようにする。

②規則正しい食事の習慣

準備や後片付けを手伝わせる。
できるだけ家族がそろって、楽しく食べるようにする。

③片付けの習慣

- ※次のことは、自分でできるように教える。
- ※使った食器を洗い場へ持って行く、脱いだ服をたたむ、脱いだ靴を揃える。など
- ※子どもが片付けたことをほめる。大人も整理整頓に努める。

④あいさつの習慣

親から子どもに進んで声をかけて、あいさつの手本を見せる。
子どもの顔を見てあいさつをする。

⑤読書の習慣

- ※幼児期の子どもには、短い時間でよいから毎日読み聞かせをする。
 - ※本の内容について、楽しく子どもと話をする。
 - ※家庭でも「読書の時間」「読書をする日」を設けて、親も一緒に本を読む。
- 《一部抜粋》